祝辞　　株式会社 国際マイクロ写真工業社

「祝辞」記録管理学会様 創立 30 周年おめでとうございます。
「お言葉などを」とご記載のため恐縮ながら下に記させて戴きます。

記

●「産」と「学」：

産・学・官・民 の「産」である私ども記録媒体変換を商いとする会社と、記録管理学会様（以下貴学会）は「一線を画す」ような関係と感じており、理由は深く無く 貴学会は「学」に属している、という私個人の身勝手な感覚です。しかし 数年前 学習院大学における貴学会の参加時にて「アーカイブビジネス」という言葉が連呼され始めました。「産」である私は、貴学会が「日本経済の循環に参加」そして「記録管理」という分野を「学」とか「産」などを超越した長期的な充実と維持が可能となってゆく、のではとたいへん勝手な想像を抱きながら安堵した事を思い出します。

●日本の「情報管理」の危機：

は、国内中央官公庁の情報端末が Windows パソコン（セキュリティー パスワード）で網羅されはじめた頃より、媒体変換を主にサポートさせて戴いている国際マイクロにおいて予測し始めました。

携帯電話において エドワード・スノーデン氏の告白本によれば、世界の「情報争奪合戦」は特に米中間で相互に準備されてスタートしていたことが理解ができます。

「アップル」と「ファーウェイ」のシステム・機材の導入の選択は、受注体制をしく各国の「自国内 情報の管理」どころではなく、米・中どちらの国に自分の情報を「管理」・「帰属」されるのか？ を決定する非常に大きな問題と成り得ます。今、「日本国内の情報」が国内で管理しきれているか？ 「否」です。これは歴史を顧れば解る事ですが、日本国の防衛力の強弱の問題 という現実に行き着く事となります。

●iPhone 端末：

を所有する各人は、携帯の GPS 情報だけでは無く、「Hey siri」を待機する間の口頭の会話、メール内容をも、それら iPhone 携帯から無意識に受発信している情報内容が米国により把握されており、米国にとっての「要注意人物」等の選定、そして「マーケティング」戦略等に利用される、これらの個人が無意識に発する情報の多くが日本ではなく米国で管理されている、とスノーデン氏の文面から読み取れる。そこまで日本に浸透した米国の「情報管理」の手法に、今 日本人として 核武装してくれる米国と事を荒立てる事無く素直に準拠してゆく、と覚悟して使用する事を日本人の多くが把握すべき時です。

●記録管理・「温故知新」による「日本経済の復活」：

「47 都道府県にある古文書のデジタル化」の提案。当社では 2015 年頃から現在まで 与党様・野党様に右 QR 情報「政府への提案」を提出しております。

特化した技術を持つ当社の立場（宮内庁様・水戸徳川家様等で貴重な史料のデジタル化・国会図書館大量電子化を外注なく対応）において、今出来得る事は「国内古文書のデジタル撮影と管理」を全国同業社長達とその同業者が指示する「潜在的労働力」への伝授の方法、そして仕様・品質の統一と管理です。

政府への提案

・何を：　47 都道府県に大量にある「古文書」（推定 20 億点）を。
・誰が：　47 都道府県の「潜在的労働力」（シルバー人材・専業主婦・障がい者・無業者等）で撮影。
・どのように：「デジタル撮影の基本技術」を 47 都道府県プロ(同業者へ)と品質等の統一を図り（現在 90%以上の同業社長が賛同）、潜在的労働者に伝授し、（３K では無い仕事内容ゆえに）「ピラミッド型」に クールジャパン技能の「伝授を拡大」。
・いくらで：　47 都道府県にて 5 年間で 251 億円を提案中。（1 県あたり 1 億円／年×5 年間）
・目的は：　「潜在的労働力」の「顕在化」。（過去の 藩政改革 を新たな 県政改革 のヒントになど）各県に眠っている古文書による「温故知新・内需拡大・地方創生・町興し」等の実行。

●「技能伝授の基本事例」：

を提案、代議士 数名の共通するご意見は「この提案は面白い、どこかの県とか市とかの実績が在れば」との事。現在、当社のある新宿区、またその姉妹都市である長野県内（議会議員等）で実現化を進めております。県市区町村 自らの予算で実行出来る事例が多いほど、政府への提案が実り易くなるとの事。

「政府への提案」の（いくらで）は 251 億円：1 都道府県あたり(1 億円／年)×5 年間なのですが、地方財源が優先できれば県市区町村でも 1000～3000 万円／年くらいで「基本設備・作業指導費・仕様書作成と潜在的労働力への指導」の仕組み作りが成り立つような調整は可能です。

（ただし 当社等プロが技能伝授を行う工程日時はデジカメ業界の閑散期 毎年 5～11 月の対応を希望）

●なぜ国際マイクロか？：

は 右 QR 情報の「D」に 恐縮ながら記載させて戴いております。

多く技能の指導を経験、そして 7 億円規模の NDL 大量電子化プロジェクトで培った現場のノウハウを含む仕様書の統一。 そして約 5 千万円をかけて作成した大量電子化用のアプリケーションソフトは、全国 47 都道府県に無料提供をしても実現すべき、と覚悟している、等の内容です。

なぜ国際マイクロ？
（D～）

●本機関誌への祝辞：

を貴学会からお声掛けを戴き、祝辞を兼ねて記録管理に携わる方々への（恐縮ながら）「草の根運動」として掲載させて戴く幸運に感謝しております。「政府への提案」内容は、一見「実現できるの？」と思われがちですが、恐縮ながら国際マイクロであればその実現性を最高に高める事が出来ます。

必然か偶然か、その立場にある国際マイクロが本気で取り組まざるを得ない立場にある為、実現するまで諦める事は無い、という覚悟で取り組んでおります。

●「出る杭」：

は、打たれます。「政府への提案」は 多くの大企業と同業者の一部にはおいては公にしておりません。

どこの大企業も利益を出すことに血眼ゆえに、です。「大きな予算が付いたら伝票通し をしてよ」という会社もありますので。無論 当社も赤字続きでは会社が維持できませんが、私は毎年の株主総会で突かれることが無い立場にありますので、小社ゆえか そこまで血眼ではありません。（笑）

私は入社以来 35 年間、競合する同業者 団塊の世代に流行ったランチェスター戦略の対象ゆえか、何十回と当社発の新しい提案・その成功と失敗・企画開発等を重ねてたこと、を「揶揄」されております。又、生意気盛りな 25 歳での社長交代。「出る杭は打たれる」の対策は時間が勿体ないので 35 歳前に中止。

当社創業者である父 森松幹雄は お天道様に恥じない生き方に邁進する人でした。理不尽な対応の大企業の面々とは正面からぶつかる事も多く、しかし誠実な下請けの会社さんには即金で支払う、という「強きを挫き弱きを助く」を絵にかいたような鮮やかな人でした。

私は父程ではないのですが、物心ついた頃より意味の無い弱い者イジメを嫌い、社会人となっても大企業の理不尽には対応・抵抗するなど、無意識に父を真似していたようです。それゆえか「挑戦」「目立つこと」「ええかっこしい」と見える私の言動、それを「打ちにくる人」が 有る事無い事、又は針小棒大にうわさが流れる事があります。悪評や嫌がらせ？ は一部分の企業だけではなく、かつて社内で問題を繰返して退職した人も含めて確認しております。そのような人たちは、百害あって一利無し・価値観が大きく異なる異星人（お互い様ですが）と思い、なるべく近寄らないようにしております。（笑）

●目指す方向：

は、貴学会と同じ方向（記録を正しく管理する）を当社も見ている、と感じます。

「出る杭」の役どころが多い当社にたいして貴学会の皆様には温かく見守って戴いており、安心を頂戴しつつ歩むことができます。貴学会の高い「志」、そして「力弱きもの」にも隔てのない対応の皆様が多く、心根さわやかな体制と感じております。

「目の前に現れる問題」に無暗に惑わされない為には「志」を絶えず見据えていれば良い、と感じます。

識字率 世界最高峰である日本国民の 産・学・官・民 の有識者が力を合わせれば不可能は無くなる、と信じ、本誌のこれらの記録も「日本人の記録」として後世に残してゆかねばならない事でしょう。

日本の「記録管理」が更に正しく進展できるよう 私達は「産」だからこそ妥協出来得る事を実践し記録管理学会の「目的」の到達を応援することを改めて誓い お祝いの言葉に代えさせて戴きます。

30 年前の勇士で立上った記録管理学会、創立 30 年をこころからお祝い申しあげます。

2020 年 吉日 （株）国際マイクロ写真工業社 代表取締役 森松義喬 他 有志一同